

平成 23 年度の事業報告書

平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人

まちづくり機構ユマニテさが

1 事業の成果

平成 23 年度においては当機構の事業の柱である空き店舗対策事業、イベント開催事業を中心に活動してきたが、新たに社会実験の「わいわい!!コンテナ」プロジェクトを実施し、4核構想エリア内の空き地にコンテナを設置し、平成 23 年 6 月 11 日から翌 24 年 1 月 31 日までの 8 ヶ月弱、当機構はコンテナ運営を中心とした業務を行った。

本プロジェクトに対する市民の反応及び関心は非常に高く、その結果継続を希望する声が多く挙がった一方で、街なかの商業者がコンテナを利用して販売促進を図る動きは少なく、そのような動きを活発化するための働きかけ、事業者との連携が必要であると思われる。

最終年度であった空き店舗対策事業の一つである「テナント誘致推進事業」であるが、これまで十分な実績を上げることができたとはいえない。この要因は外部環境的には、東京、大阪、福岡等に本社がある企業をはじめとして、新規出店に対する姿勢が極めて厳しくなっており、これまでの「家賃が安い」ということが誘因になりにくくあるという点があげられる。

また内部環境的には、不動産業者とユマニテスタッフとの関係はある程度構築できたものの、積極的に協力してもらえるまでには至らなかった。こうした状況を突破するために、自主事業として「入店誘導促進事業」をスタートさせ、「転貸借事業」及び「家賃補助事業」の 2 つであるが、結果的には、5 店舗の誘致が実現した。

賑わいづくりに関しては、一過性のイベントではなく連続性のあるイベントを企画した結果、委託事業である「新活性化事業」において、「街なか音楽祭」「キッズタウン」等を実施し、好評を博することができ、「街に出れば、いつもどこかで何かをやっている」状況を創出することができた。その他「街コン」などの新たな取組を行ったが、平成 23 年度はイベント全般において、市民、商業者等の巻き込みが十分とは言えず、今後は当機構が直接街づくりを行うのみではなく、市民、商業者等が街づくりの当事者となり、当機構はそれぞれの活動を支援していく仕組みづくりをすることにより、街の活性化につなげる必要がある。そのための仕掛けや働きかけが今後の大きな課題である。

以上のことから、それぞれの事業について「何をもちて事業の成果とするのか」を今一度再考し、それぞれの事業の目標設定を明確化し、達成すべき目標に向かって業務設計を行っていきたい。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所 (C) 従事者数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (千円)
①中心市街地の活性化に関する普及・啓発事業	街なか瓦版発行事業 「市民と学生の街歩きを後押し」をコンセプトとして年に6回隔月に発行し、街なかのタイムリーな情報を収集編集発信することにより、街なかへの来訪を促した。 6回各5000部を発行	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 2人	(D) 中心市街地に関するもの (E) 不特定多数	1,408
	ホームページ運営事業 ホームページを活用することで、街なかのさまざまな情報を受発信し、双方向的なコミュニケーションの場を構築した。また、アクセス数増加策として、日々のブログ更新やツイッター、フェイスブックとの連動を図った。	(A) 通年 (B) 当法人事務所 (C) 2人	(D) 全国のインターネット利用者 (E) 不特定多数	409
	まちづくり講演会事業 まちづくり関係者、市民に対してまちづくりへの関心を高めてもらうために岩本悠氏、西村浩氏、山崎亮氏による講演会を実施した。	(A) 9月30日 11月11日 (B) 中心市街地内 (C) 5人	(D) 佐賀・福岡県の参加者 (E) 約350人	478
②中心市街地の整備改善に資する建築物等の施設の整備及び管理事業	街なか再生会議事業 行政、市民、地元企業、まちづくり団体等が、街づくり計画を策定し、計画実現に向けて関係者が一体となって協力するために会議を開催し、通年活動を行った。 開催回数 6回	(A) 通年 (B) 中心市街地内 (C) 4人	(D) 会議参加者のべ180人、その他中心市街地に関わる者 (E) 不特定多数	963
	まちの間実験事業 大学生が地域との連携を試みるために、商店街の空き店舗を自ら改修して居住を開始した。	(A) 通年 (B) 呉服元町 (C) 1人	(D) 居住学生2人および中心市街地に関わる者 (E) 不特定多数	200
	うるおい創出事業 わいわいコンテナを設置して街がどう変貌するか、市民がどんなイメージを持つか、回遊性が増すかどうかを検証した。	(A) 6月～1月 (B) 松原二丁目 (C) 7人	(D) コンテナ来場者 (E) 約15,000人	8,702

	656 広場管理事業 街なか交流広場の指定管理者として、施設を管理するとともに、イベント開催等活用の促進を図った。	(A)通年 (B)呉服元町 (C)4人	(D)広場の利用者及び観客 (E)不特定多数	1,782
③良好な市街地を形成するためのまちづくりに関する事業	共通駐車券事業 中心市街地の加盟駐車場で利用できる共通駐車券を活用して、商店街、個店、事務所へのアクセスを容易にし利便性を高めた。	(A)通年 (B)中心市街地内 (C)2人	(D)共通駐車券を利用する店舗、事業所等、及び加盟駐車場 (E)店舗事業所の顧客	3,666
④中心市街地の整備改善に関する調査研究事業	空き店舗調査事業 店舗誘致の受け皿となる空き店舗・空地の実態調査を行い、中心市街地の変化を時系列に把握するとともに、独立開業を志す人々へ情報を提供する基礎資料を随時更新作成した。	(A)通年 (B)中心市街地内 (C)2人	(D)相談者、出店希望者 (E)不特定多数	0
⑤中心市街地の歴史、伝統、文化、芸能、芸術及び名物の保存・育成を図るための事業	BOOK マルシェ事業 わいわいコンテナをメイン会場とし、本を媒介にした人と人の出会い、本の楽しさ面白さを発見することによる文化の底上げを図った。	(A)10月22日 10月23日 (B)松原二丁目及び呉服元町 (C)11人	(D)出店者・来店者 (E)不特定多数	1,550
	ダンスバトル大会 第1回目のユマニテ杯ダンススタジアムを開催し、来街者の増加と、ダンスを通じた若者の育成を図った。	(A)12月10日 (B)呉服元町 (C)7人	(D)出場者及び観客 (E)約300人	314
	街なか音楽祭 定期的に第3土曜日を音楽祭の日としてイベントを開催し、来街者の増加と、音楽を通じた文化芸術の振興を図った。	(A)6月～3月 (B)中心市街地内 (C)3人	(D)出場者及び観客 (E)約1500人	1,805
	キッズタウン事業 定期的に第4土曜日をキッズデーとして、子どもと若いお母さんを対象としたイベントを開催し、来街者の増加と、親子のふれあいを通して文化芸術の振興を図った。	(A)6月～2月 (B)中心市街地内 (C)3人	(D)親子の参加者 (E)約1200人	2,267

	ほとめきぶらり旅事業 少人数による街なか再発見の旅プランを2コース各2回、延べ4コースで実施。	(A)3月3日 (B)中心市街地内 (C)5人	(D)県内外の応募者 (E)25人	428
	佐賀北高書道部揮毫会 全国一位の技術を維持している佐賀北高書道部の皆さんが、街なかで揮毫会を行い、書を媒介とした市民との交流を図った	(A)6月4日 (B)呉服元町 (C)2人	(D)北高生及び観客 (E)約500人	20
⑥中心市街地の環境整備及び環境保全に関する事業	未実施			
⑦中心市街地公共空地等の管理事業	唐人町緑道管理事業 緑地の清掃管理を行い、地域住民及び来場者に憩いの空間を提供した	(A)通年 (B)唐人二丁目 (C)3人	(D)地域住民及び通行者 (E)不特定多数	699
⑧中心市街地住民の生活の安全と利便性を確保する事業	未実施			
⑨中心市街地の整備改善を図るために有効な土地の取得、管理及譲渡事業	未実施			
⑩中心市街地の商業の充実を図るための事業	エスプラッツ誕生祭 平成19年8月にエスプラッツが再開したことを記念して、毎年栄の国まつりと同時開催し街の賑わいづくりを図る	(A)8月6日～8日 (B)白山二丁目 (C)3人	(D)祭参加者、観客、観衆 (E)不特定多数	1,022
	バルーンサテライト事業 骨董市、三夜待ちナイト、キャラクターショーなど、気球大会に合わせて街なかでイベントを実施した。また、百貨店と商店街との協賛キャンペーンを実施した。	(A)11月2日～6日 (B)中心市街地内 (C)7人	(D)県内外のバルーン の観客 (E)不特定多数	248

<p>楠の杜手づくり市事業 全国の手づくり作家を迎えての手づくりアートフェスタを開催した。</p>	<p>(A)3月10日 ～11日 (B)白山町八幡神社 (C)7人</p>	<p>(D)県内外から出店の53店、及び来店者 (E)約4,000人</p>	1,514
<p>公募型空き店舗対策事業 年間を通して出店者を募集し、審査を行って、合格者に対して出店支援を行う。</p>	<p>(A)通年 (B)中心市街地内 (C)3人</p>	<p>(D)中心市街地で出店を希望する者 (E)不特定多数（審査の結果出店に至った者4店舗）</p>	13,490
<p>商業者育成事業 独立開業を考えている起業家に、商売のノウハウを指導した支援2店舗</p>	<p>(A)通年 (B)唐人一丁目 (C)2人</p>	<p>(D)県内外の新規起業を志す未経験又は経験の浅い商業者 (E)出店者2店舗</p>	9,720
<p>住みます芸人ミニライブ事業 吉本興業の「住みます芸人」によるライブを2回行い、賑わい創出を図った。</p>	<p>(A)7月30日 8月26日 (B)中心市街地内 (C)2人</p>	<p>(D)一般市民 (E)観客約200人</p>	0
<p>佐賀ん街コン事業 街なかで男女の出会いの場を作ることで、街の賑わい創出と商店の活性化を図った。</p>	<p>(A)3月18日 (B)中心市街地内 (C)3人</p>	<p>(D)一般市民 (E)応募者男女各110人 合計220人</p>	1,301
<p>テナント誘致事業 不動産関連会社の協力を得て、集約一元化された街なか不動産情報を活用して空き店舗へ商業施設を誘致する。</p>	<p>(A)通年 (B)中心市街地内 (C)3人</p>	<p>(D)佐賀に出店を考えている全国の商店事業所 (E)不特定多数</p>	9,953
<p>商店街連携事業 中心市街地の商業者と連携してコミュニケーションを深め、買い物場、人が集う場としての市街地の再構築を図った。</p>	<p>(A)通年 (B)中心市街地内 (C)3人</p>	<p>(D)中心市街地内の商店 (E)不特定多数</p>	5,954
<p>わくわくクーポン券事業 毎年嘉瀬川河川敷で開催される熱気球大会に車で来場する方を、佐賀市の中心部に誘導する手法としてクーポン券を渡し、市街地で買い物をしてもらい、中心部の商業の活性化を図る。</p>	<p>(A)11月～12月 (B)中心市街地内 (C)2人</p>	<p>(D)車で会場を訪れる気球大会の観客及びクーポン券利用店舗 (E)約1,000人</p>	480
<p>オートパーティー事業 中心市街地にスーパーカーや消防車、自衛隊の装甲車等を展示して、来街者の増加を図る</p>	<p>(A)5月4日 (B)呉服元町及び佐賀神社外苑駐車場 (C)1人</p>	<p>(D)車のオーナー・観客、中心商店街の商店、及び来街者、一般市民 (E)不特定多数</p>	713

	銀天夜市協賛事業 中心商店街の夏の夜の風物詩となっている銀天夜市を、地元商店と共催でカラオケ大会、ダンスバトル大会を実施し、賑わいづくりを支援する	(A)7月の土曜日 4回と8月6日 (B)呉服元町 (C)2人	(D)一般市民 (E)出場者及び観客約1,300人	50
	えびすビヤパーティー えびすビールと佐賀の恵比須像を関連付けて、市民の関心を中心市街地へ向けさせること、及び参加者同士のコミュニケーションの活発化を図った。	(A)7月27日 8月24日 9月28日 (B)呉服元町 (C)7人	(D)一般市民及び協賛店舗 (E)参加者約900人	622
	入店誘導促進事業 店舗の転貸や家賃補助を行い、中心市街地への出店を誘導した。	(A)通年 (B)中心市街地内 (C)3人	(D)中心市街地に出店を考える商業者 (E)転貸物件1件 家賃補助4件	2,708
①中心市街地の整備改善に関する事業を行う者に対する情報の提供、相談又は援助事業	出店コーディネート事業 空き店舗の情報や経営相談、出店相談等中心商店街での総合的な商業相談支援をおこなう	(A)通年 (B)中心市街地内 (C)3人	(D)中心市街地に出店を考える相談者商業者 (E)不特定多数	0
②その他第3条の目的を達成するために必要な事業	のまん伍太事業 飲料水の街づくり支援自動販売機を4台(うるおい事業実施の際は5台)設置し、来街者の利便性向上を図る	(A)通年 (B)中心市街地内 (C)2人	(D)一般市民 (E)不特定多数の購買者	182

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者数	支出額 (千円)
① 駐車場業	えびす駐車場を運営し、来街者の利便性、快適性を高め、サービスの向上を図るとともに、得られた収益を非営利活動費に充当する	(A)通年 (B)松原一丁目 (C)3人	20,495
② 不動産仲介事業	未実施		0